

「日々の理科」(第1733号) 2019 (H31), -4, -7

「桜満開! (4)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

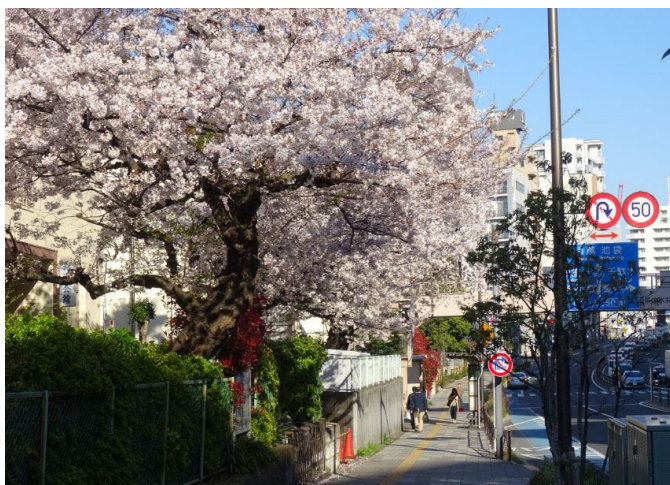
お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

「桜蔭会館」と並んで、もう一つ古風な建物がある。「作楽会館」である。「さくらいかん」と読み、附属高校の同窓会の建物だ。正確には「東京女子高等師範学校附属高等女学校とお茶の水女子大学附属高等学校の同窓会の建物」ということになる。4月1日にすでに新しい建物・・・大学正門横の「国際交流留学生プラザ」に移転して、無人になってしまった。



「さくらいかん」の名の通り、サクラの木の下にある。この建物も近く取り壊されることになっているので、この建物とサクラが一緒に風景も、この春で見取めということになりそうだ。



作楽会館から桜蔭会館にかけては、春日通りでも一番サクラが美しい。幸い、まだ少ししか散っていない。本校の新生も、茗荷谷駅から両親に手をひかれて、このサクラの下を通るだろう。きっと、新しい制服で記念撮影をするにちがいない。



お茶大の構内にも「サクラの名所」が何か所もある。一番美しいのは、南門のサクラだと思う。ここで集合写真を撮ったら、さぞずばらしいと思うのだが、残念ながら木々の下は駐車場になっている。



日曜日によく晴れて暖かったので、同僚と小石川植物園まで足を延ばしてみた。茗荷谷駅方面から植物園へ行く道はたくさんあるが、やはり播磨坂がすばらしい。「播磨坂桜並木」として有名だ。



ここも満開だった。「小石川桜まつり」は一週間前に盛大に行われたが、今年はこの週末のほうが花が多かったようだ。歩道も沿道の飲食店も、花見のお客さんで大賑わいだった。